

新型コロナウイルス感染症の早期診断/治療の推進 によりハイリスク患者の入院を抑制する

30 Mar. 2023

岡山市保健所 松岡宏明

本日のお願い

通院中患者や在総管患者に早期診断/早期治療を提供できる体制を非流行期に準備していただきたい

オミクロン株以降の対策の焦点

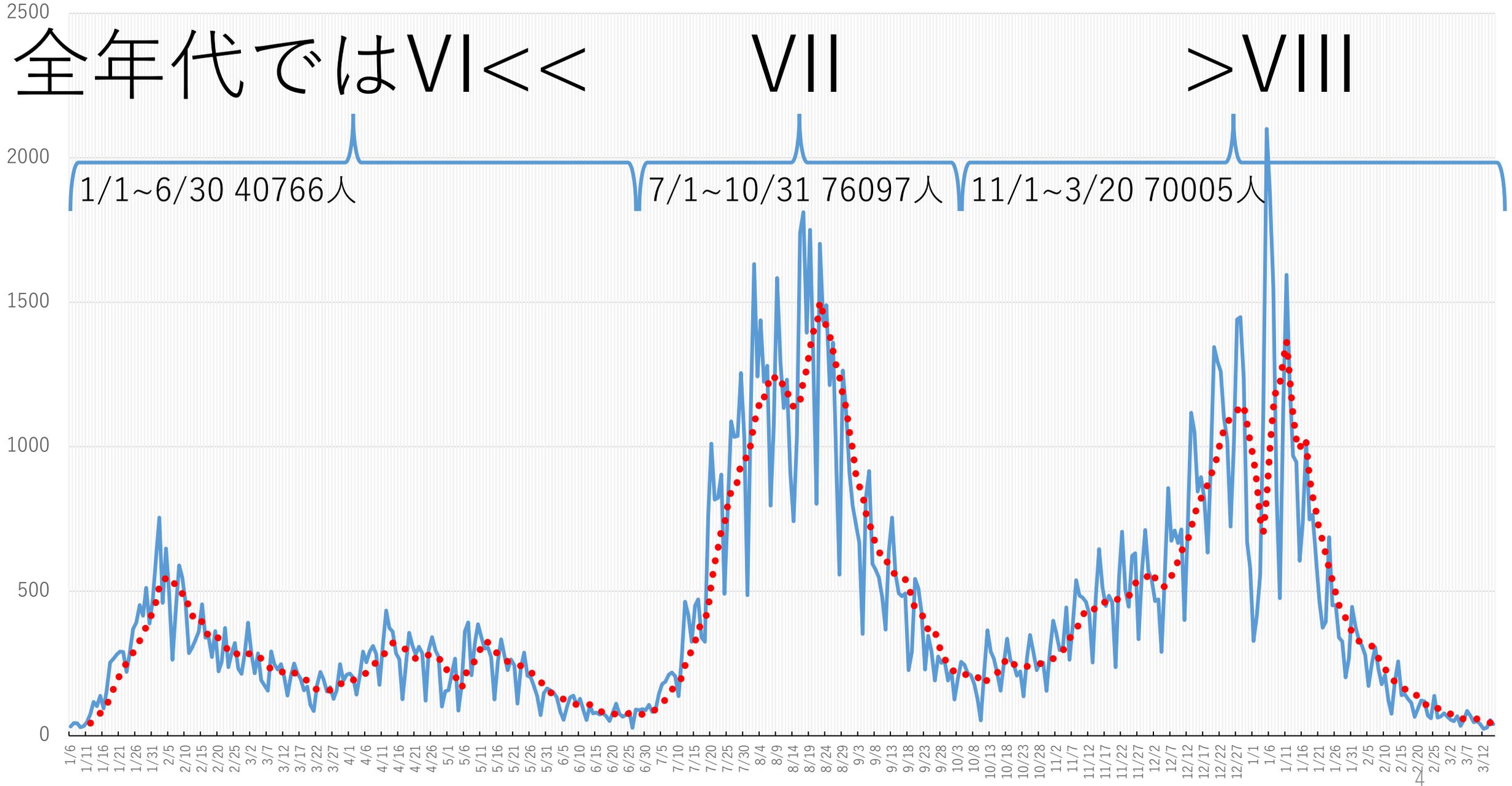
- 高齢者の施設内等での感染拡大阻止は非現実的
- 感染拡大防止のための入院/宿泊療養/隔離等の対応は患者急増時には困難
- 感染時(特に患者急増フェーズでの)対応を事前ケア計画に基づいて準備
 - 感染後の重症化への予防的対応
 - 重症化への予防的対応を可能にする早期診断
 - 早期診断を可能とするための対象者への告知
 - 処方-調剤-服薬開始の迅速化/簡便化

届出日による発生動向(2022/9/27以降は集計数)

全年代ではVI<<

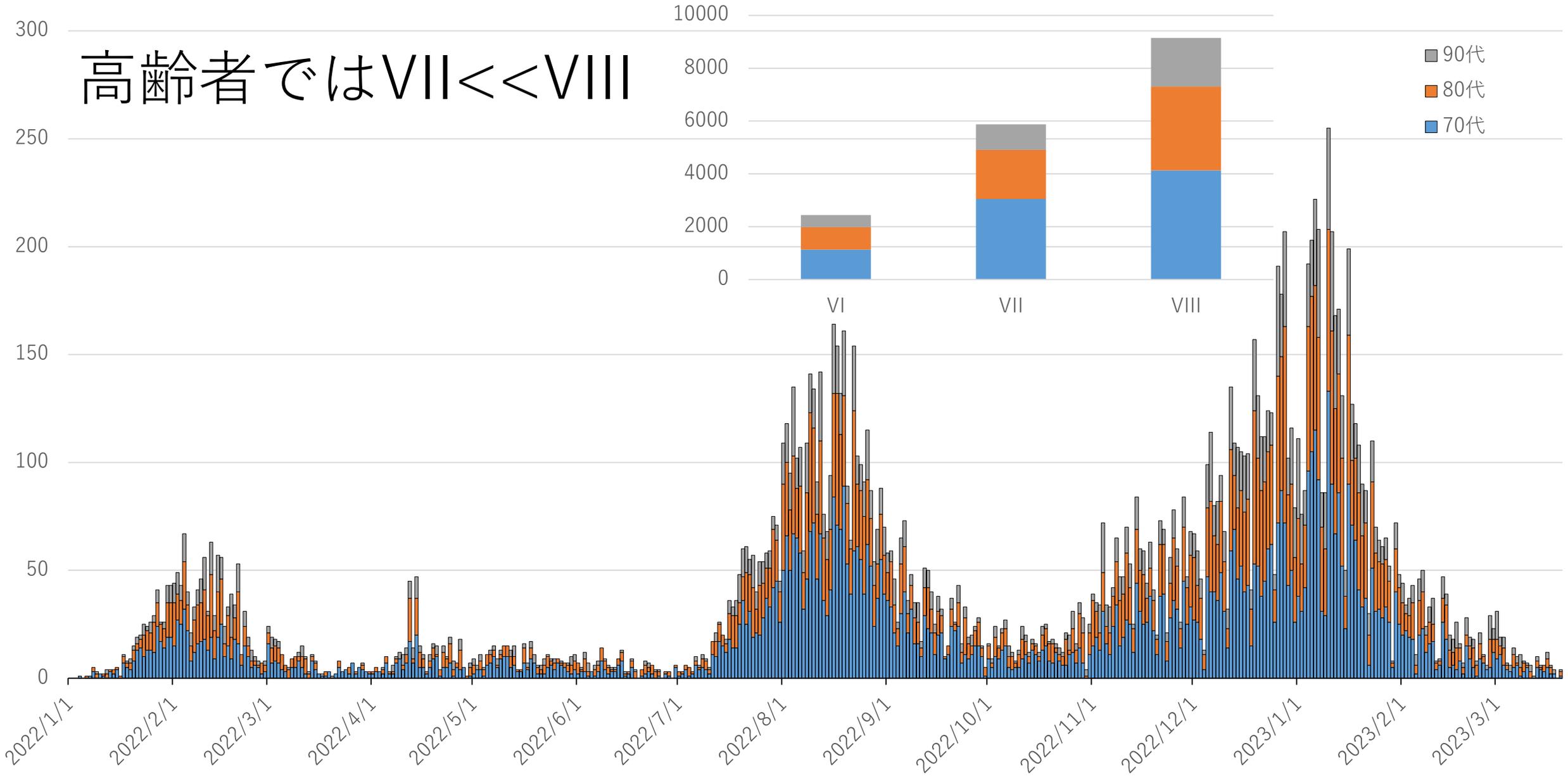
VII

>VIII

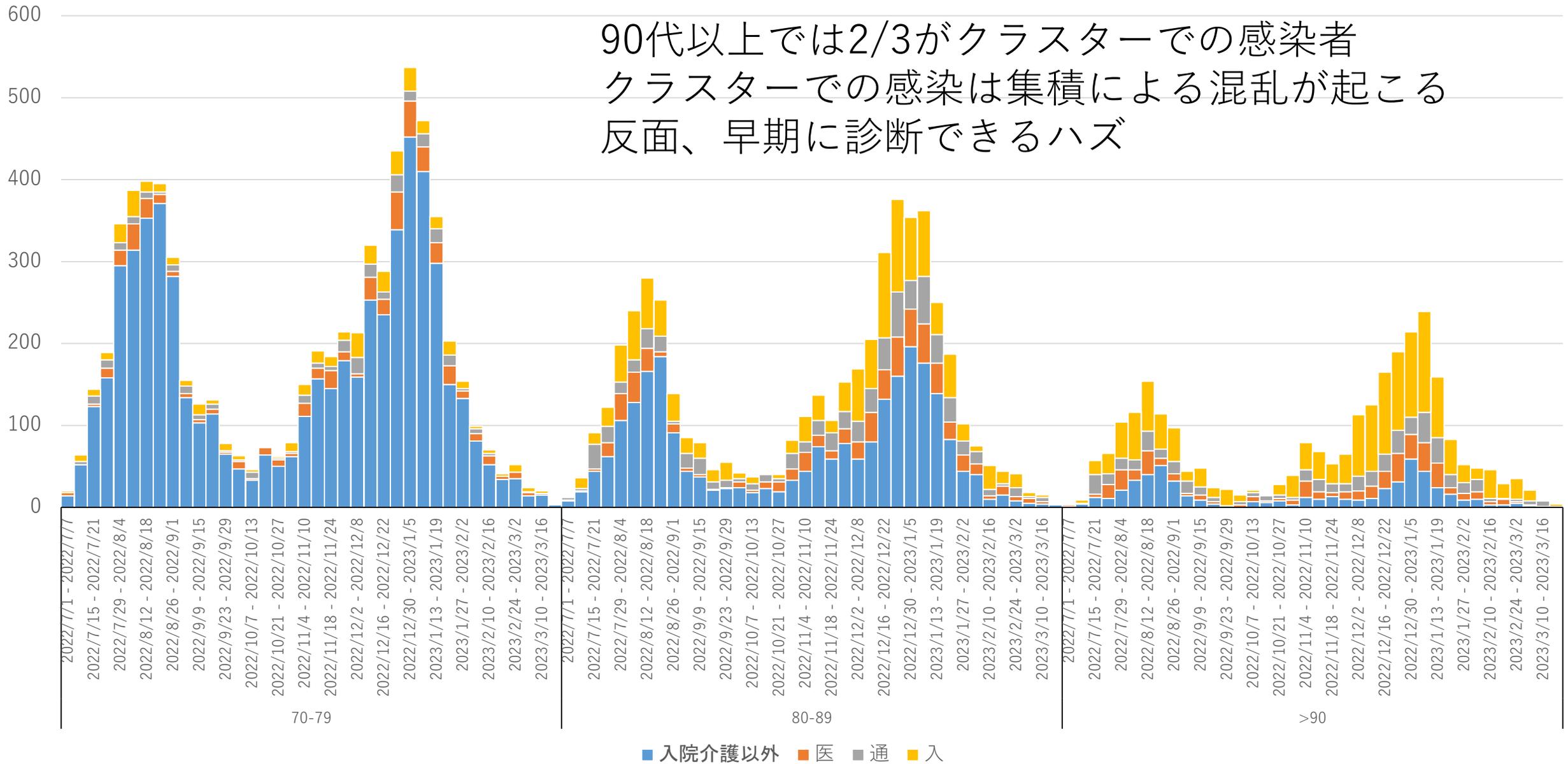


2022年1月以降の70代以上の届出患者の発生動向

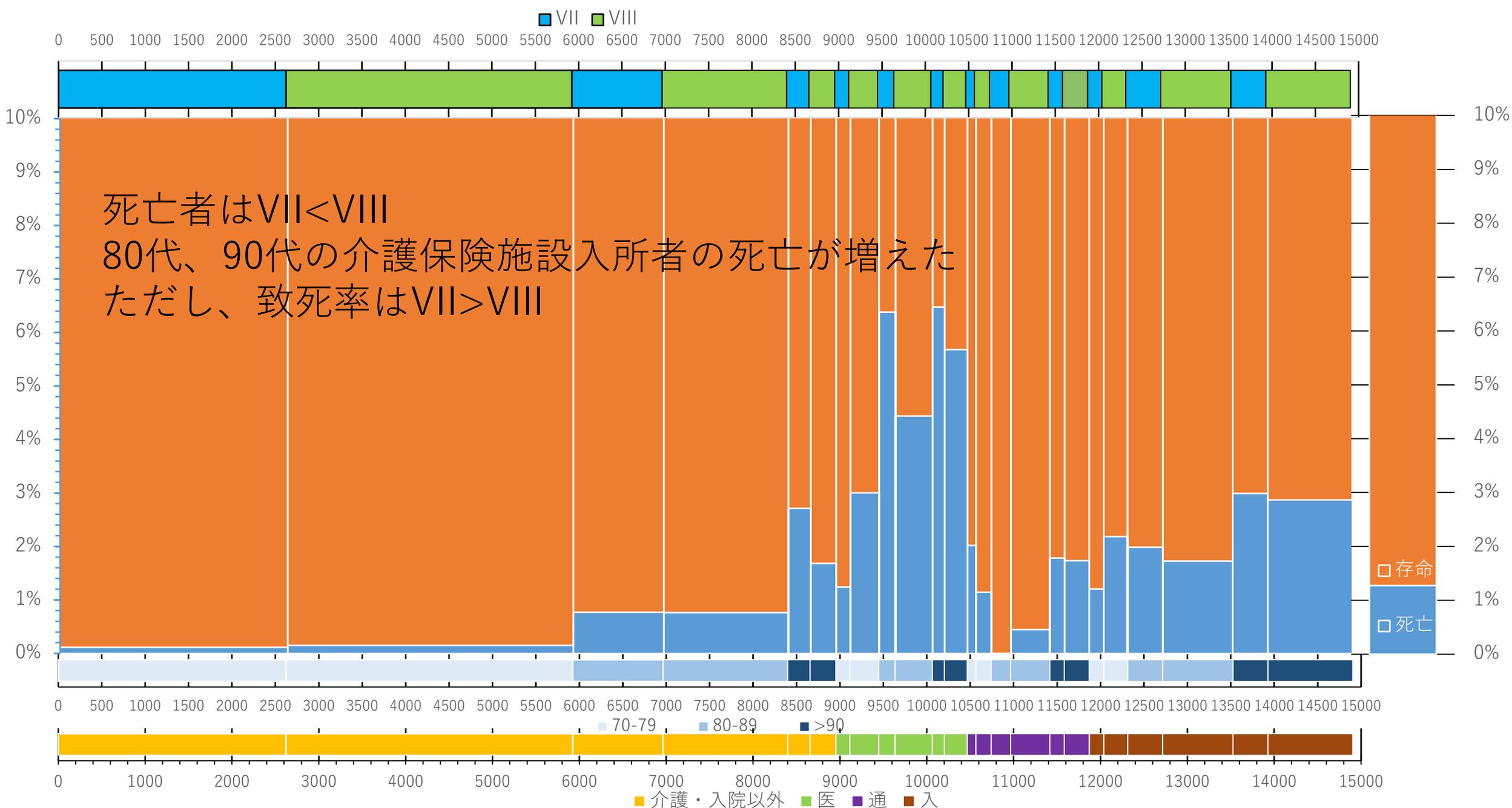
高齢者ではVII<<VIII



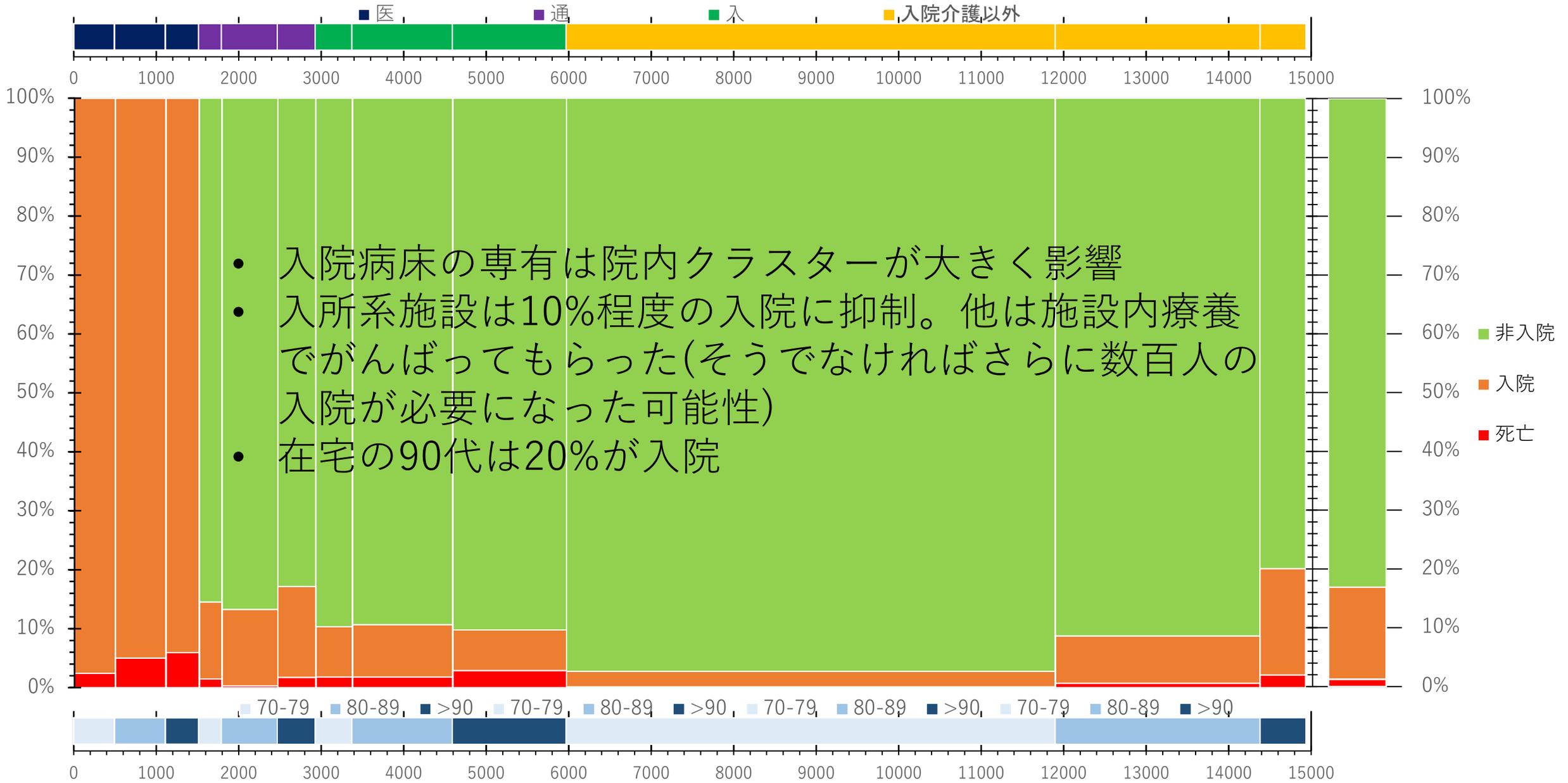
2022年7月以降の70歳以上患者の所属状況別発生動向



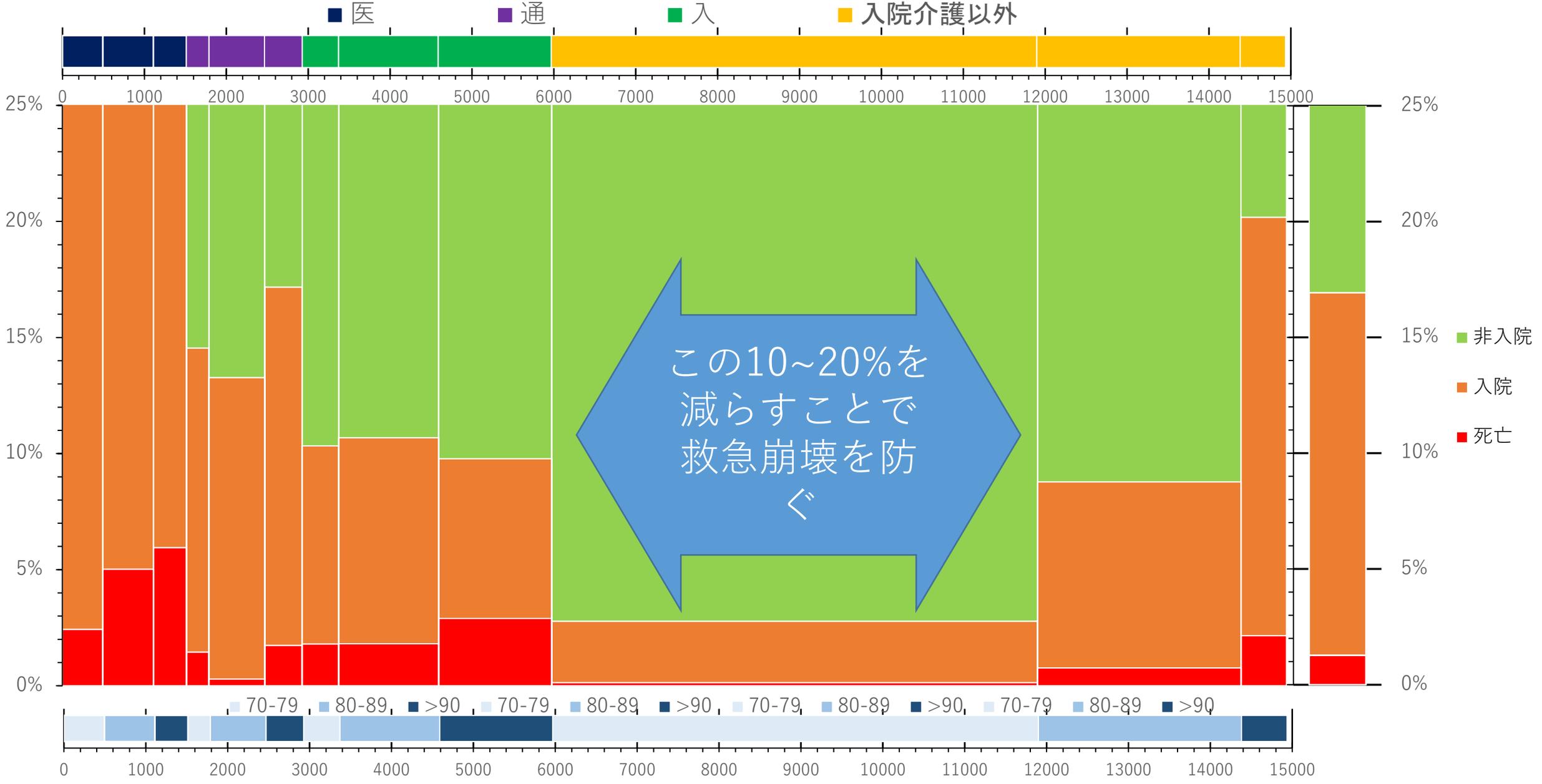
7波以降の2023年3月20日時点での70歳以上の年齢階級/クラスター種別での死亡の7波と8波(2022年11月1日～)の比較



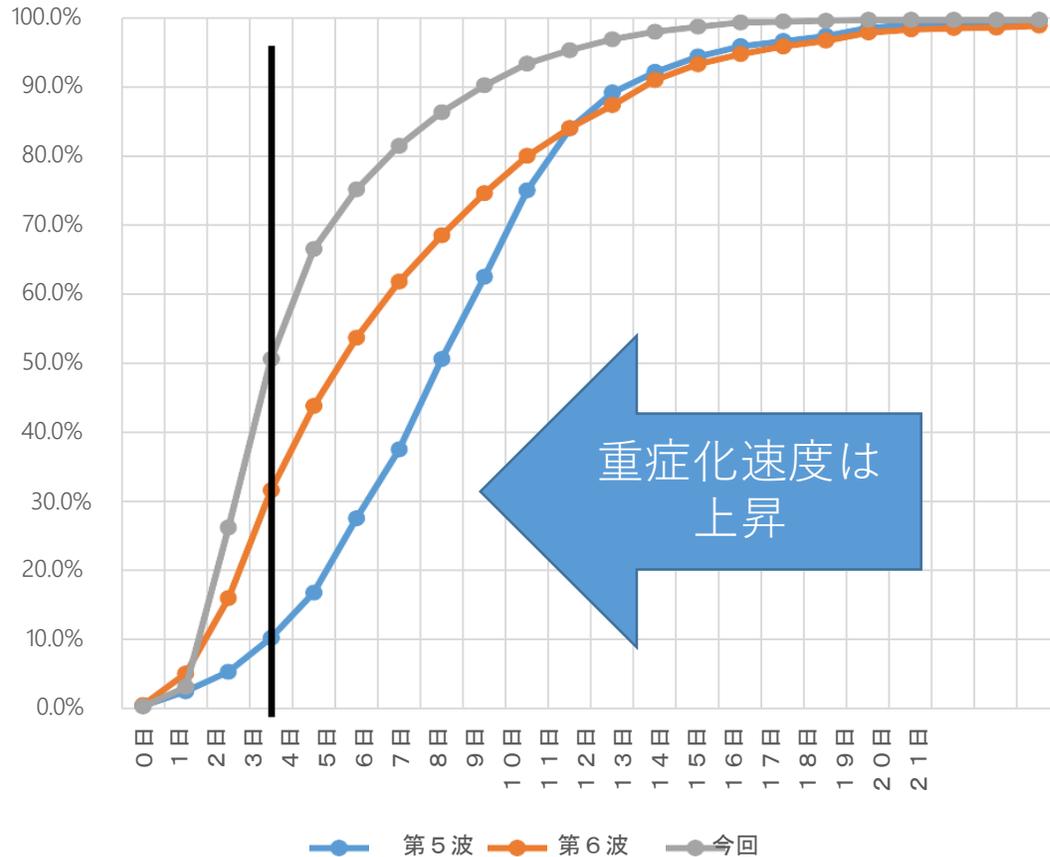
2022/7/1~2023/3/20までに届出のあった70歳以上の患者の診断時所属と年齢階級別の転帰



2022/7/1~2023/3/20に届出のあった70歳以上の患者の診断時所属と年齢階級別の転帰

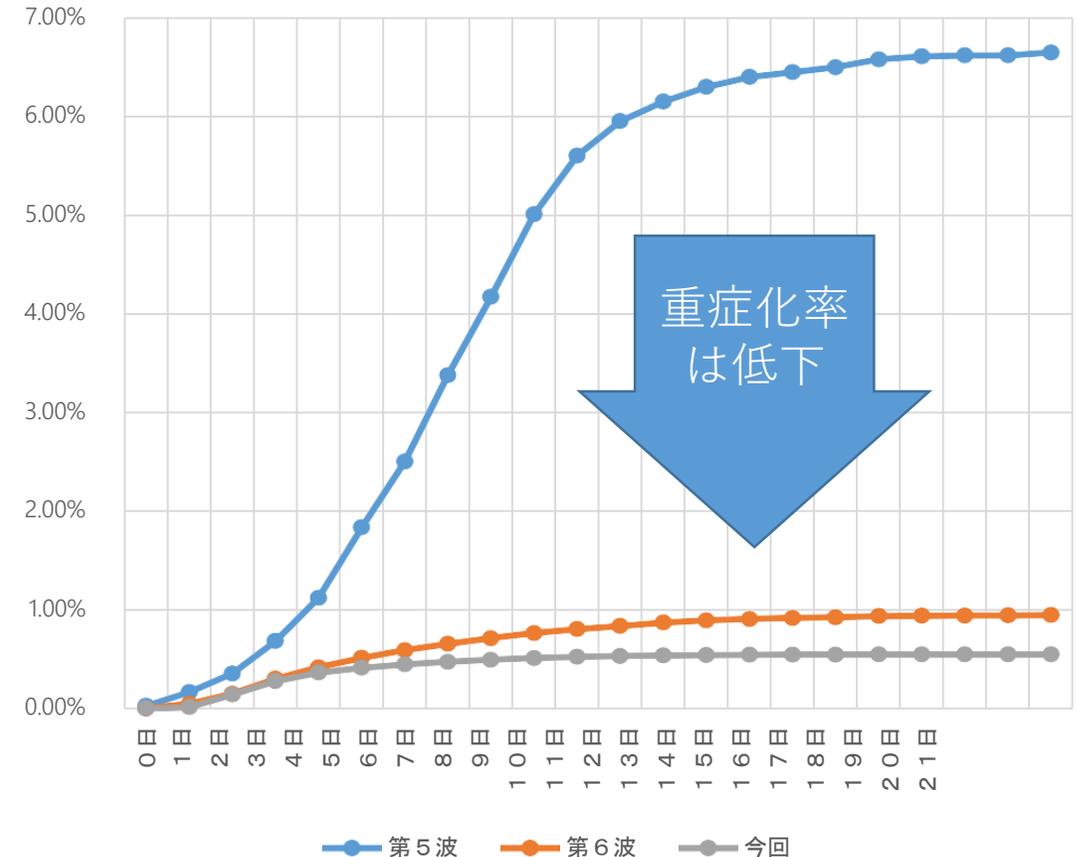


中等症Ⅱ以上へ悪化した者における、発症から症状悪化までの累積割合の推移
(症状悪化例を100%とした場合)



第5波：R3.7.1~R3.11.30公表事例 第6波：R3.12.1~R4.6.30
公表事例
今回：R4.7.1~R4.8.31公表事例（R4.9.3時点までのデータを使用（そのため、8月後半の公表事例については今後症状悪化する可能性がある点に留意）
※中等症Ⅱ以上：中等症Ⅱ、重症、死亡

患者全体のうち、中等症Ⅱ以上へ悪化した者の発症から症状悪化までの累積割合の推移
(患者全体を100%としている)



早期診断

- 対象者はハイリスク者に限定
 - 高齢者(90代>80代>70代)
 - 複数の重症化リスク要因を有する人
- 場面
 - 非流行期なら家族/施設内発生時しか想定困難
 - 流行期だという判断の伝達
 - 注意すべき症状の説明
- 行動計画
 - その場の自覚症状ではなく重症化予防が必要であることの説明
 - 連絡先の提示
 - 急ぐ程度(夜間は恐らく不要ながら、週末の扱い)
 - 自己検査陰性の場合の再検査タイミングの指示

軽症例への抗ウイルス療法による重症化予防効果

- パキロビットパック内服5日間
 - 併用薬剤の薬物動態への影響が懸念材料
 - 岡山市薬剤師会の薬物動態無料コンサルテーション事業
 - 一部の絶対的禁忌を除けば、内服中の併用薬中止/減量等の対応が可能
 - <https://www.hosp.ncgm.go.jp/phar/140/20220210.pdf>
 - 2023/3/20からの一般流通開始
 - <https://www.mhlw.go.jp/content/001075432.pdf>
 - 適格性情報チェックリスト送付不要
 - 投与実績報告不要(ただし国購入品を使用した場合は使用実績記録は残しておく)
 - 同意書の取得は引き続き必要
- パキロビットパックを使用できない場合はベクルリー点滴3日間
 - 併用薬剤の制限は少ないものの一時間以上かけて点滴が必要

安全かつ速やかな処方

- 事前の薬物動態コンサルテーション事業の活用
 - 岡山市薬剤師会加入の薬局
 - 処方内容を送付(患者名は匿名で差し支えない)
- 理想的には
 - 絶対禁忌薬について、禁忌のない薬剤に事前に変更しておく配慮
 - 相対禁忌薬について、用量減量や休薬を事前に決めておく
 - パキロビッドパック内服中用の処方箋を予め用意しておくこともありか
 - 一部の抗てんかん薬や循環器用剤で処方変更や減量が難しい場合、ベクルリー点滴の実施体制や依頼できる医療機関を手配

患者さんへの説明 文書の一例

コロナ感染すると直ぐにコロナの薬を始めた方が良い患者さんへ

令和 年 月 日

[患者名] 様

〇〇〇診療所

医師 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇〇

コロナに感染した時に、重症になることを予防するための薬(抗ウイルス薬)を早めに飲み始めることを[患者名]様にはお勧めします。ついては、次のような場面には症状が軽くても、対応する心積もりをしておいてください。さらに、その薬の処方にあたっては、御本人または代理人の方の同意書が必要になるので、同意の準備をしておきましょう。また、服薬にあたって、飲み合わせに注意がある場合のあることを知っておいてください。

場面

1. コロナが流行している時に熱や咳、喉の痛み、その他()の症状が出てきた。
2. 家族や施設の人がコロナに罹っている時に、熱や咳、喉の痛みなどの症状が出てきた。
3. 家や施設で抗原検査を受けたら陽性だった。
4. その他()

対応

当院の診療時間中: 電話番号 〇〇〇〇〇 へ電話して下さい/ その他()

当院の診察時間外:

- 夜間: △△△△へ電話 / 翌日日中に〇〇〇〇〇 へ電話して下さい / その他()
- 休診日: △△△△へ電話 / 翌日日中に〇〇〇〇〇 へ電話して下さい / その他()
- 土曜日: △△△△へ電話 / 翌日日中に〇〇〇〇〇 へ電話して下さい / その他()
- 休日: △△△△へ電話 / 翌日日中に〇〇〇〇〇 へ電話して下さい / その他()

同意

パキロビッド・パックの説明を読んで、処方に同意しますか。 署名()

飲み合わせの注意

1. 当院からの処方では特に飲み合わせの注意はありません。
2. 下記の薬を一時中止します。

薬	減量/中止	何日から	何日まで

もし、当院以外へ受診する場合はお薬手帳と一緒に「〇〇〇からはパキロビッド・パックの適応である」と言われていることを伝えて下さい

確実な調剤で迅速に内服開始

- 受け取り/配達体制の確認(特に週末)
- パキロビットパック内服中の他剤の減量や中止がある場合の患者/家族への説明や、調剤済み薬剤の引き上げ、減薬した処方の切り直し等の対応の実施体制の確認
- 在庫不足のときの対応(一般流通に伴って譲渡は可能になっている)